

**製品名: MYCD ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14266**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	103kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MYOCD MYCD
別名	
遺伝子 ID	93649.0
SwissProt ID	Q8IZQ8
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 200~280

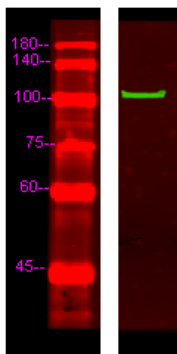
**背景**

この遺伝子は、心臓、大動脈、および平滑筋細胞を含む組織で発現する核タンパク質をコードしています。血清応答因子（SRF）の転写共活性化因子として機能し、心臓および平滑筋特異的な SRF 標的遺伝子の発現を調節するため、心臓形成および平滑筋細胞系譜の

分化において重要な役割を果たす可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2009年9月],ドメイン: C末端領域には、一般的な転写活性化ドメインが含まれています。N末端領域は、塩基性ドメインとグルタミン酸に富むドメインから構成され、SRFのMADSボックスとの会合を媒介することで転写能と特異性を付与します。塩基性ドメインは核局在に必要である可能性があります。SAPドメインは、転写活性化および三元複合体の形成に重要です。機能: 標準的な単一または複数の CARG ボックス DNA 配列を使用する転写因子。血清応答因子 (SRF) 存在下でのみ CARG ボックスに結合します。SRF の補因子として作用し、SRF 標的遺伝子を調節します。心臓および平滑筋特異的遺伝子群の発現を制御します。心臓形成および平滑筋細胞系譜の分化において重要な役割を果たします。類似性: SAPドメインを1つ含みます。類似性: RPEL リピートを3つ含みます。サブユニット: ホモ二量体。SRF と相互作用しますが、その結合は特定の DNA 配列に依存しないため、三元複合体の形成には影響しません (類似性による)。MLLT7/FOXO4 と相互作用します。組織特異性: 心臓、大動脈、および平滑筋細胞を含む組織 (胃、膀胱、小腸、結腸、肺、胎盤、子宮) で発現します。前立腺および骨格筋ではごくわずかに発現します。、

## 研究分野

## 画像データ



Hela 細胞溶解のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。